

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0173600479		
法人名	社会福祉法人厚真町社会福祉協議会		
事業所名	厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」		
所在地	北海道勇払郡厚真町字本郷236番地の6		
自己評価作成日	平成24年2月9日	評価結果市町村受理日	平成24年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

“ゆっくり、のんびり、楽しく”を理念に、いつでも、どんなときでも、温もりと安らぎのある生活を目指して取り組んでいます。
敷地内に畑や温室を設けており、農作物や花木の育成・栽培を楽しんでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0173600479&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成24年2月27日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、胆振日高の中にあって比較的少雪の地域であるが、今回の調査日は、大雪の翌日。広い駐車場は、高々と積み上がった幾つもの雪山が占領しており、それでも横一直線に生活支援ハウス・デイサービス・グループホーム「やわらぎ」それぞれの特色をもたせた造りの三棟が並び、近代的なくともいきの里を形成している。中に入ると、茶の間からベランダへ下りるガラス戸越しに、畑や、ガラス張りの温室があり(残念ながら灯油高騰の為、冬期休命中)、その向こうには高校の広いグラウンド。雪が無くなれば体育の授業や、部活の生徒たちのはつらつとした姿、若やいだ声も聞こえてくる事が、充分想像できる環境にある。又、職員は利用者家族との、コミュニケーションの良さを誇りにしており、前回調査の改善課題であった、「地域を取り込んだ、理念の構築」には「総合施設長・管理者・職員が共同で取り組み、何度も討議を重ねて「住み慣れた地域で、家族やなじみの人々とふれあい、季節を感じながら、安心・笑顔・生きがいを大切に暮らす事を支えます。」とのホーム理念を掲げるに至った事は、自己評価及び外部評価の意義の意図するところでもある。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員間で理念を共有し、これを意識して業務にあたっている。 新たに地域との関わりを意識した理念を作成した。	皆で考え、練り上げた理念作りの過程を通し、新たに生まれた連帯と共同の意識は貴重である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の保育園と概ね月2回程度の交流を実施している。防災避難訓練等も、地域住民の協力を得ながら実施している。 町の催しにも参加している。	職員の気持ちに地域への思いが加わり、近所へのお知らせの為にスピーカーの向きにも注意を払い、避難訓練参加の呼び掛け、保育園との交流にも力を入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所自らの取り組みとしては実施していない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員からの意見を、年間行事計画や防災訓練計画に反映している。	2か月毎の運営推進会議にはボランティア団体も参加しており、年間行事の計画にもお茶会等、アイデアが盛り込まれている。また前回調査で、施設も身体拘束に繋がるとの指摘があり、会議で話し合い、施設時間を1時間遅らせたが、釧路の事件を受け、安全確保の為前に戻した。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて、自治体の担当者と連携している。	包括支援センターも町組織の中にあり、常に連携をとって諸施策を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修等により身体拘束をしないケアについて学び、日常のケアに活かしている。	町の研修も多く、母体社会福祉協議会の研修にも必ず拘束しないケアの研修はあり、職員はよく理解して支援に当たっている。前回指摘の施設については、上段「外部評価項目3」で触れたとおりであり、玄関ブザー脇には施設理由の説明札も付け、鍵自体は電子ロックで、ブザーが鳴り次第、短時間で開錠可能との説明も受けた。	認知症の特性により、利用者の施設への閉塞感・反応は強い例が多い。話し合い、廊下から玄関近くのカメラ・モニターでの利用者見守り、気持ち回避の適切な誘導についても説明を受けた。職員の知恵と会議での検証、今後の更なる取り組みに期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束排除の理念や防止マニュアルを作成して職員間で理解を深めるとともに、研修も実施して虐待防止に努めている。		

厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見、権利擁護に関する学習の機会を持っていない。今後の研修実施が課題の一つ。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な理解がいただけるまで、丁寧に説明するように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期に利用者家族会を開催しており、要望や意見をいただき機会を設けている。	遠方の家族と町内家族の2班とし、家族会役員は年替わりで、多くの意見を取り入れる工夫をしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期に職員会議を開催しており、事業運営に関する意見交換を図っている。	職員会議では行事予定の細部を詰め、担当制の見直しや在庫管理の意見のほか、「食卓テーブルが大きいと向かいに座っている人の話も聞こえない。家庭で使うようなコンパクトな、親近感のあるものにしたいたい」等、多くの意見が出る。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	現状でできる限りの労働環境整備に努めているが、十分とはいえない。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職責や職歴に応じた研修への参加に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所同士で連携して研修会の企画・実施するなど、協力関係を築いている。		

厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の率直な気持ちや要望について、聞き取りを実施している。 家族からも本人の生活歴を伺い、安心できる支援に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申請をいただいた場合は、家庭訪問したうえで困りごとや要望を伺い、信頼関係構築の一歩としている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申請時の相談機会において、他に適当と考えるサービスについても説明する事で他の選択肢も提案している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩に対し、敬愛の念をもって支援している。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会との相互協力により、利用者本位のサービスに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでに所属していた町内会の敬老会や馴染みの美容室へ出掛けるなど、希望があれば送迎支援等を実施している。	町内のドライブ先や買い物先で声を掛けられる事もあり、クラス会や町の文化祭には積極的に出掛けている。敬老会は以前住んでいた町内会に出ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1人ひとりの個性の把握に努め、円滑な人間関係が保たれるよう、常に目配りしている。		

厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族から相談があればフォローアップしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活全般において、適宜意向の把握に努めている。	アセスメントシートに基づき、知人宅を訪問する支援も行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス開始段階において、本人・家族にはこれまでの生活歴について聞き取りを実施している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期のケア会議により、日頃の状況について把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期にケア会議を実施しており、介護計画実施のモニタリングと介護計画の作成・修正に努めている。	チーム作りは積極的に行いモニタリング(個別生活記録)担当も整っている	半年毎のアセスメントによるケア計画－実践－評価－評価結果を反映した、次の介護計画の流れが明確になるよう期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に毎日の生活記録を作成しており、介護計画の見直しに役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同一敷地内にある、認知症対応のデイサービスとの交流支援や、自治体の実施する機能訓練・体操に参加することがある。また、特殊浴槽などを利用させていただいている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期に町内のボランティア団体と交流し、談話やレクを楽しんでいる(アレンジフラワーなど)。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と相談し、本人の心身状態に応じた医療機関の選択と受診支援に努めている。	利用者・家族の意見に従い受診支援をすると共に、急な体調変化には、協力医療機関の往診体制も整っている。	

厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当事業所は看護職員は配置していないが、隣接のデイサービス在中の看護師や町内の協力医療機関の看護師との連絡・相談ができるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医療機関と情報交換に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態の重度化や終末期ケア必要な場合、家族やかかりつけ医と相談して方針を決定し、必要に応じて医療機関の紹介等をしてもらう。	生命に関わる場合は、かかりつけ医・家族と相談の上、必要に応じて連携医からも医療機関の紹介を受け、入院等の支援もやっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や体調急変時の対応マニュアルを作成している。 消防機関の実施する救命講習にも参加している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時行動マニュアルを作成しており、定期に読み合わせ等で確認している。また、消防や近隣住民と協力して火災避難訓練を実施している。	近隣住民の協力を得て、昼・夜間想定火災避難訓練を行っている。地震については、職員間での共同認識の確認を行っている。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	情報保護に関する方針を定め、個人情報の取扱いは十分配慮している。	母体の社協で定めたポリシーに従い、職員研修を行うと共に、書類等の取り扱いについては家族への説明、人格の尊厳に基づくケア・支援を心掛けている。調査員の居室訪問の許可も得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	理解力に応じたコミュニケーションを図り、自己決定を大切にしながら支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースと集団での決まりごとに配慮しながら希望に沿った支援を実施している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時や施設行事などで化粧や洋服でのオシャレ支援を実施している。整髪等の理美容については、希望する店舗でサービスが受けられるように支援している。		

厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備(米とぎ、皮むき、お茶入れ)、後片付け(皿洗い、皿拭き)等、一人ひとりができることを活かしている。お好みバイキング等も開催して、食事を楽しんでいただいている。	ジグソーパズルのようなテーブルが面白いと調査員は見たが、職員はさらに会話が弾むテーブルにしたいと、何時も利用者の目線に立った支援を模索している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活記録によって食事・水分摂取量を把握し、必要と思われる分量が摂取できるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯洗浄などの口腔ケアを実施しており、口腔内の状態も確認している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	生活記録によって排尿・便の間隔や時間を推定し、排泄の自立にむけて支援している。オムツはずしにも努めている。	生活記録から排泄パターンを読み取り、おむつからパット使用、布パンツへと職員の支援が続いている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量が少なくならないように努めるとともに、個別に食物繊維食品等を摂取していただいている。体操などで身体を動かす取り組みも実施。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日や時間帯を特に決めてはいるわけではないが、日中の職員が多い時間帯(主に午後)に支援している。その中で、一人ひとりの希望やタイミングを合わせながら支援している。	今日も午前中を希望した利用者の為にお湯を張っていたが、利用者の気持ちの変化等もあり、対応の難しさが見える。多くの利用者が週3回程入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	照明の明るさや、室温等の環境に配慮している。様々な工夫で安眠が確保できない場合、医療機関と相談している。冬季は湿度管理にも努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が処方薬について確認しており、重要性を認識した上で服薬支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や得意なことを活かしながら、家事・買物・畑仕事などに取り組んでいる。		

厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買物や散歩、ドライブ、畑作業等を通じて、戸外に出る機会が不足しないように努めている。	今冬は寒さが厳しい為、買い物でのドライブが多い。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談の上、お金を持つことのできる入居者については、所持したり買物で使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状のやりとりや電話での連絡支援を実施している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、季節に応じた装飾をおこなうなど季節感を感じる工夫をしている。 共用ソファ、食卓、小上がり等、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	小上がり風の和室には洗濯物がいっぱい干してあり、湿度補給に一役買っていた。また、7段飾りのお雛様には季節を感じた。壁には利用者作の力強い筆致の習字や、花の絵など、所狭しと見事な装飾がしてあり、明るい空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	複数人が座れるソファを設置し、気の合う者同士が集まって談笑している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染み深い物品を居室に置くことで、少しでも居心地が良いと感じられるように配慮している。	思い思いに好みの壁飾りがしてあり、家族に手伝って職員もアイデアを出している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に表札を出したり、トイレに「便所」という貼り紙をするなどの工夫により、自立した生活のつながるよう工夫している。		

目標達成計画

事業所名 厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」

作成日：平成 24年 3月 12日

市町村受理日：平成 24年 3月 27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 玄関の施錠という行為が、入居者の行動制限（身体拘束）につながる恐れがある、との認識を持つ。 現状の施錠時間が適当であるか、様々な視点から検討する必要がある。	入居者ケアへの姿勢や防犯上の観点などから、現状のグループホームにおける適切な施錠のありかたを検討のうえ、施錠時間を決定する。	グループホーム家族会、運営推進会議の場において課題を提起する。 意向や助言を踏まえて目標を達成する。	2ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 毎月のケア会議により、介護計画へのモニタリングは実践されているが、この結果を次の介護計画に反映させて実践していく一連の経過が、記録としてわかりにくい。	入居者個々の介護計画、モニタリング、修正・継続の流れを、誰が見てもわかりやすいように記録する。	モニタリング及びケア計画原案作成の手順及び書式を統一して、全スタッフが共有実践することで目標を達成する。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。